

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成27年度)

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ③アジア拠点化・国際物流分野(3/4)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
ハイパー&グリーンイノベーション水島コンビナート総合特区(岡山県)	正	3.2	3.2  <u>進捗度</u> ・企業間連携によるコスト削減額 100%  ・水島港の輸送効率改善による貨物取扱量 88%  ・企業集積によるコンビナートの成長と雇用の確保 0%	3.4  <u>規制の特例等</u> ・分割可能貨物輸送効率化事業 等  <u>財政支援等</u> ・地域活性化総合特区支援利子補給金 1件  <u>地域独自の取組</u> ・高圧ガス保安法に係る保安検査報告書の提出期限の延長 等	3.0	<p>・目標達成に向けた進捗度合いは基本的には順調であり、また、規制の特例措置を活用した事業や地域独自の取組も積極的に行われており、全体的には十分に優れていると評価できる。ただし、地域独自の取組について、特区との関連が見えにくいものもあるので、特区との関連を明確にした説明が必要。</p> <p>・評価指標(1)(企業間連携によるコスト削減額)について、第二段階のエネルギー連携を通じた効率化は、効果が現れるまでに長い時間がかかることが見込まれることから、早急な実施が望まれる。</p> <p>・評価指標(3)(企業集積によるコンビナートの成長と雇用の確保)については、初年度から0件が続いている。理由として挙げているマクロ経済・国際経済の外的要因は、目標立案当時に比べて急激な変化があったわけではない。誘致戦略に改善が求められる。</p>

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。